

指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 まちなかにぎわい 課

1. 基本情報

1102

施設名	伊丹市立観光物産ギャラリー		
施設の設置目的	観光物産事業の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 伊丹都市ブランド戦略の推進		
指定管理者の名称	伊丹市観光物産協会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来場者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間来客者数	
	今年度の目標値	39,000	上期の実績値 19,298

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30 (上期)	H30 (通期)
	来館者数 (人)		18,338	30,159	28,899	30,545	37,427	19,298

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018) 計画	平成30年度 (2018) 実績 (上期)
収入	使用料収入		0	0	0	0
	事業収入		25,919	27,572	27,860	13,347
	その他		8,528	8,901	7,699	4,443
	指定管理委託料		9,070	8,845	9,330	4,809
	①合計		43,517	45,318	44,889	22,599
支出	維持管理	光熱水費	2,510	2,385	2,894	1,274
		清掃等委託料	1,229	1,739	1,746	816
		土地建物賃料	33	24	24	0
		修繕料	386	318	274	0
	運営	人件費	8,127	8,433	8,100	4,193
		事業等経費	31,138	31,706	23,300	11,649
		その他	94	0	8,551	4,667
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計		43,517	44,605	44,889	22,599	
純収支 (①-②)			0	713	0	0

			H25	H26	H27	H28	H29	H30 (上期)
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入		0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
	市の支出		5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	4,809
	(内、指定管理委託料)		5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	4,809
	実質経費 (歳出-歳入)		5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	4,809

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	清掃は委託業者により毎日丁寧実施。詰まりが頻発し悪臭もひどかった駅1階市民トイレは、平成29年度に全面改修され「快適に使える」と市民に大好評。	A	昨年度に改修を実施したトイレも含め施設全般が清潔に保たれており、利用者からも高評価を得ている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	観光物産ギャラリーは、適切なシフト制による人員配置で運営している。	B	適切な人員配置ができています。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防計画策定済み。JR伊丹駅と合同消防訓練を実施している。	A	連絡体制は整えられており、活用もされている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	イーゼルPOPや掲示板などを利用して効果的な広報宣伝に努めている。苦情・トラブルにも適切に対応している。	A	狭いスペースではあるがギャラリー内は整理整頓が行き届いており、接遇も丁寧になされている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	効果的な事業展開に努めているが、財政難でスタッフ不足を余儀なくされている。	B	効果的な事業展開が行われている。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	平成29年度にホームページを全面的にリニューアル、自前で更新できる方式に変え発信力を高めた。	B	積極的に情報発信を行っていることとする姿勢は十分に評価できる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	商工会議所内の事務局とも連携、適切な会計処理をしている。	B	適切な会計処理が行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価 B	昨年度は来館者数が大幅に増加した。今年度も昨年度を上回るペースで進捗している。これは、情報発信効果による認知度アップや効果的な事業展開によるリピーターの増加によるものと推察される。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年4月1日～平成30年9月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	<p><清掃> 「明るくてきれいなので、入りやすい」</p> <p><職員の接遇態度> 「親切にしてもらい助かる」「上品な対応だった」</p> <p><その他> 「兵庫県の物産がいろいろあるので助かる」「ちょっとした伊丹の土産を地方の地人・友人に送れるので便利」「いろんな品があって選ぶのが楽しい」「少し狭い」「出入り口のガラス面の文字が確認しづらい」「もう少しディスプレイを考えると商品が華やかに見える」</p>	<p>伊丹市が平成25年度に観光物産ギャラリーを改装した際、外観をカフェ風のデザインにしたために全体を喫茶店と誤認する人が多い状況を少しでも改善しようと、平成28年度に県の補助を得てガラス面に書かれた「おみやげ」「観光案内」などの文字を大きくしたうえ英語表記も付けたが、今回のアンケートでも「文字が確認しにくい」と回答した人がいた。抜本的な改善策を市に提案すべく検討中である。</p> <p>展示物については、マンネリを防ぐため市内の良品を探して新商品として新たに展示販売する試みを続けている。主な商品に関しては、写真やイラストを大きく使ったPOPを作成してアピールしている。</p>
回答者数	40	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置